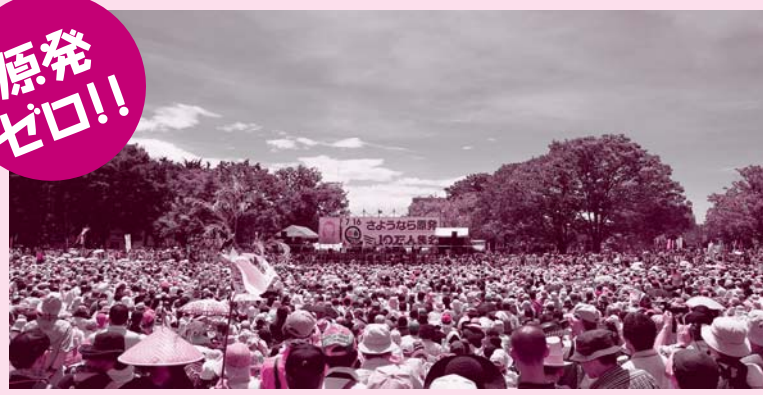


共同のスクラムを 国民と行動する

原発
ゼロ!!



「99%の願い」
実現へ

消費税
増税
やめて!

TPPは
アカン!

12月16日投開票の総選挙は、民主ガッカリ、自民コリゴリ、第三極わからん、などの政治不信から投票率が戦後最低(59.32%)を更新。比例得票率で27.66%の自民が294議席(議席占有率61.25%)を獲得。民意が反映しない小選挙区制の害悪が浮き彫りに。

自民は憲法改悪を明言し、改憲勢力が多数を占める危険な状況になりました。しかし、脱原発などの国民の行動は続きます。行動する国民とスクラムを組んで政治の転換を求めていきましょう。

いのち
まもれ



大阪自治労連・
公務公共一般労働組合
柏原市学童保育指導員分会
分会長 小野 保子さん

第1回総会&10周年のつどい



分会の仲間とともに。「闘い続けて、身分も有償ボランティアから臨時職員になりました」と語る小野さん

組合結成 あゆみ続けて10年 「継続は力!」を証明

12月9日に結成10周年のつどいを開催した柏原市学童指導員分会。10年間のあゆみと思いを分会長の小野保子さんに語ってもらいました。

「私たちは労働者」の
思いがふつつつと

自治労連や地域の
仲間を支えられ

職場に組合がなかった頃は、勤務時間・賃金・仕事内容・指示命令・人事異動など、全て教育委員会が管理するのに、私たちは「有償ボランティア」の名のもと、有給休暇も退職金もなく社会保険にも加入できず、労働者扱いされませんでした。元大阪府の職員で、府職労の組合員だった私は「おかしい」と感じ、もがく日々が続きました。

「あゆみ」続けた10年
勝ち取った成果の数々

それから10年、「あゆみ」を止めることなく闘い続け、雇い止

め撤回・継続雇用・定年制廃止・忌引き休暇・社会保険加入や「学童保育の専門性を認める」などの当局の発言から時間給の大幅引き上げを勝ち取りました。12月9日、組合結成10年目で初めての総会を開催。当日は、私たちが支えてくれた方々が多数かけつけ、「あの頃、苦しかった、辛かったね。10年もよくがんばってきた」と、涙を流して激励されました。



結成直後の2003年1月には「おおさか自治体の仲間」の表紙で紹介されました